

2018年5月24日

「マツダ アテンザ」を大幅改良

—最新のフラッグシップモデルとして、幅広い領域において性能や質感を大幅に向上—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、同社のフラッグシップモデルである『マツダアテンザ』(セダンおよびワゴン)を大幅に改良し、全国のマツダ販売店を通じて本日より予約受注を開始します。発売は6月21日を予定しています。



アテンザセダン「25S L Package」(右)およびアテンザワゴン「XD L Package」

今回の商品改良では、マツダブランドを牽引するフラッグシップモデルにふさわしい最新・最良の「走る喜び」を具現化することを開発の志とし、デザイン、走行性能、安全性能など、幅広い領域において性能や質感を大幅に向上。基本車型であるセダンを丹念に造り込むことにより、本質的なクルマの価値を提供します。

デザインについては、洗練さとぬくもりの表現に注力。上級機種「25S L Package」「XD L Package」では、日本の伝統と先端技術により生まれた新素材「Ultrasuede[®]nu(ウルトラスエード[®]ヌー)」¹を量産車として世界初採用²。艶となめらかな風合いを併せもつ新しい質感を表現しました。また、栓(セン)の木を使用した本柵(ホンモク)パネルやナッパレザーなど、本物の素材にこだわりつつ、日本の伝統美に通ずる色合いを表現。次世代のデザインの考え方も取り入れながら、エクステリア・インテリアともに上質なエレガンスを表現しています。

走行性能に関するコンセプトは、「Effortless Driving(エフォートレス・ドライビング)」。様々な日常の運転シーンにおいて、クルマの性能をドライバーの意図通りに発揮させることで、心に余裕と安心が生まれ、ドライブをより楽しむことができる状態を目指しました。

内燃機関のたゆまない進化に取り組むマツダとして、従来から設定のあるエンジン3機種すべてを進化(SKYACTIV-G 2.0、SKYACTIV-G 2.5、SKYACTIV-D 2.2)。「SKYACTIV-G 2.5」には気筒休止技術を採用するなど、「走る喜び」をさらに高めるとともに、実燃費の向上を図っています。

また、次世代の車両構造技術「SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTURE(スカイアクティブ・ビークルアーキテクチャー)」³の要素を一部採用。シートおよびサスペンションシステムの構造を一新するとともに、ボディには環状構造のつながりを良くするため効率的な補強を施し剛性を高めました。これにより、ドライバーの期待通りに反応する一体感ある操縦安定性と上質な乗り心地の両立、静粛性の大幅な向上を実現。フラッグシップモデル

に相応しい、しなやかで質感高い「走る喜び」を体現しています。

安全領域では、マツダの先進安全技術「i-ACTIVSENSE(アイ・アクティブセンス)」として、「マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール(MRCC)」⁴を全車速追従機能付に、ヘッドライトのLEDユニットの20分割化により夜間視認性を向上させた「アダプティブ・LED・ヘッドライト(ALH)」、夜間における歩行者認識精度が向上した「アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート(アドバンスト SCBS) * 夜間歩行者検知機能付」などを新たに採用。夜間走行を含む、より幅広い走行シーンにおいて、安心・安全な運転をサポートします。

マツダの小飼 雅道(こがい まさみち)代表取締役社長兼 CEO は、次のように述べています。「アテンザは、マツダブランドを体現するフラッグシップモデルであり、ブランド全体をグローバルに牽引するクルマです。基本車種であるセダンをしっかりと造り込み、質感を高め、商品価値を向上させていくことが、SUV を含む商品ラインアップ全体に対して好影響を与えるという信念のもと開発いたしました。今後もマツダは、『地球』、『社会』、『人』とクルマが共存する世界の実現を目指し、『走る喜び』にあふれたカーライフを通じて、お客さまの人生をより豊かにし、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。」

■「マツダ アテンザ」商品改良の概要は以下のとおり

1. マツダ最高のエレガンスを追求したデザイン

エクステリアデザイン

- フロントグリルのデザインを変更し、立体感、骨格の強さ、重心の低さ、広がり感を強調。
- ヘッドランプは薄くワイドな造形と線表現の発光でより精悍な表情を演出。
- セダンのリアエンドパネルとガーニッシュを水平基調の造形とし、穏やかさと落ち着きを表現。
- 19インチ・17インチアルミホイールともに、大径感と立体感を強めた新デザインを採用。
- ソウルレッドプレミアムメタリックに替えてソウルレッドクリスタルメタリックを採用。

インテリアデザイン

- インstrumentパネルとドアトリムのデザインを大幅に変更し、ワイド感とスピード感、アテンザならではのエレガンスをより質感高く表現。
- シートデザインを一新し、フラッグシップモデルに相応しいゆったり感とおもてなし感を表現。
- 革内装の上級機種「25S L Package」「XD L Package」は、ナッパレザーシートや本柵(ホンモク)パネル、Ultrasuede[®]nu(ウルトラスエード[®]ヌー)など、最新・最良の素材をマツダ独自の色合いで仕上げたマツダ最上級の室内空間。

2. 「人間中心」の思想にもとづき、全領域を深化・熟成させた走りの質感

- よりリニアなクルマの挙動と質感高い乗り心地を実現するため、次世代車両構造技術を取り入れ、前後サスペンションシステムの構造を一新。それに合わせた新開発タイヤを採用。
- ステアリングギアマウントをリジッドマウント化し、ステアリング剛性感を向上。
- 次世代車両構造技術の考え方に基づき、カウルクロスメンバーの板厚を上げるなど、環状構造のつながりを改善することでボディ剛性を効果的に高め、乗り心地と静粛性を大幅進化。
- 「声が透る洗練された空間」をコンセプトに NVH 性能開発に取り組み、静粛性を大幅に向上。
- 前後シートは、乗員が「理想の姿勢を維持できる」ことを目指し、人間中心の思想に基づく次世代車両構造技術を取り入れて素材や形状を一新。
- ガソリンエンジンは「SKYACTIV-G 2.0」と、気筒休止技術を追加した「SKYACTIV-G 2.5」を採用し、日常域での扱いやすさと実用燃費向上に貢献。
- クリーンディーゼルエンジン「SKYACTIV-D 2.2」では「急速多段燃焼」技術などの採用により、出力を従来の129kW(175PS)から140kW(190PS)へ、トルクを420N・m(42.8kgf・m)から450N・m(45.9kgf・m)へとそれぞれ向上。人間の感覚に合ったパフォーマンスフィールとともに上質な走りを実現。

3. すべての人が「走る喜び」を堪能できる、フラッグシップの安全性能

- 夜間における歩行者認識精度が向上した「アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート(アドバンスト SCBS) * 夜間歩行者検知機能付」を採用。
- 「アダプティブ・LED・ヘッドライト(ALH)」の LED ブロックを 20 分割に細分化し、ハイビーム照射性能と配光性能を進化させ、より緻密な照射範囲のコントロールを実現。
- 4つのカメラにより周囲の映像をセンターディスプレイに表示する「360° ビュー・モニター」を設定⁵。
- 「マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール(MRCC)」に、停車状態からでも追従走行を可能にする全車速対応の追従機能を付加。
- HMI(ヒューマンマシンインターフェイス)の進化として、さまざまな情報をメーター中央に表示する高精細な7インチ TFT 液晶を採用⁶。また、アクティブ・ドライビング・ディスプレイの表示方式をフロントウインドー照射タイプに変更。

4. 快適性・利便性をさらに高める機能の進化

- フロントシートの快適性向上のため、シートベンチレーション機能をマツダ初採用⁷。
- リアセンターアームレストに小物入れスペースと充電用 USB 端子を設定。
- 前後席ドアにカーテンランプを採用して利便性と安全性の向上に貢献。
- 停車時にブレーキから足を離しても停車状態を維持できるオートホールド機能を採用。
- ワイパーデアイサーを新設定(4WD 車)。

■「アテンザセダン」および「アテンザワゴン」のメーカー希望小売価格は以下の通り (※写真掲載モデル)

機種	駆動	エンジン	変速機	メーカー希望小売価格 (消費税込)	WLTCモード燃費(km/L) ^{*8}			
					市街地モード (WLTC-L)	郊外モード (WLTC-M)	高速道路モード (WLTC-H)	
20S	2WD	SKYACTIV-G 2.0	SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	2,829,600 円	15.0	11.7	15.4	17.2
20S PROACTIVE	2WD	SKYACTIV-G 2.0	SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	2,959,200 円	15.0	11.7	15.4	17.2
25S L Package [※]	2WD	SKYACTIV-G 2.5	SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	3,542,400 円	14.2	10.6	14.5	16.8
XD	2WD	SKYACTIV-D 2.2	SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	3,240,000 円	17.8	13.9	17.6	20.8
			SKYACTIV-MT (6MT)	3,294,000 円	19.6	16.5	19.3	21.9
	4WD		SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	3,477,600 円	17.0	13.6	16.6	19.6
			SKYACTIV-MT (6MT)	3,531,600 円	18.8	16.6	18.4	21.0
XD PROACTIVE	2WD	SKYACTIV-D 2.2	SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	3,369,600 円	17.8	13.9	17.6	20.8
			SKYACTIV-MT (6MT)	3,423,600 円	19.6	16.5	19.3	21.9
	4WD		SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	3,607,200 円	17.0	13.6	16.6	19.6
			SKYACTIV-MT (6MT)	3,661,200 円	18.8	16.6	18.4	21.0
XD L Package [※]	2WD	SKYACTIV-D 2.2	SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	3,952,800 円	17.8	13.9	17.6	20.8
			SKYACTIV-MT (6MT)		19.6	16.5	19.3	21.9
	4WD		SKYACTIV-DRIVE (6EC-AT)	4,190,400 円	17.0	13.6	16.6	19.6
			SKYACTIV-MT (6MT)		18.8	16.6	18.4	21.0

- 上記価格には保険料、税金(消費税を除く)は含まれておりません。また購入時にリサイクル料金 12,740 円が別途必要です。
- 特別塗装色「ソウルレッドクリスタルメタリック」を選択した場合は、75,600 円高(消費税込)。
- 特別塗装色「マシーングレープレミアムメタリック」を選択した場合は、54,000 円高(消費税込)。
- 特別塗装色「スノーフレイクホワイtpパールマイカ」を選択した場合は、32,400 円高(消費税込)。

以上

*1 「ウルトラスエード[®]」は東レ株式会社の登録商標です。

*2 2018 年 4 月マツダ調べ

*3 「SKYACTIV VEHICLE ARCHTECTURE (スカイアクティブ・ビークルアーキテクチャー)」とは、マツダの「人間中心」の設計思想をさらに突き詰め、人間の体が持っているバランス保持能力を最大限活用できる運転環境を提供する次世代車両構造技術。骨盤を立てて脊柱が自然な S 字カーブを維持できるシート、多方向に配置した環状構造で入力エネルギーを遅れなく伝達するボディ、各部品が相互に連携してばね上に伝える力を滑らかにコントロールするシャシー、エネルギーの特質や人間が音を感じるメカニズムに基づいて造りこんだ NVH 性能など、各機能を見つめ直し、クルマとして全体最適の視点で開発したもの。

*4 0 km/h から高速域まで追従走行可能。なお、全車速追従機能付は AT 車のみ。MT 車の「マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール(MRCC)」は約 30km/h から高速域までの追従に対応。

*5 「25S L Package」「20S PROACTIVE」「XD L Package」「XD PROACTIVE」でメーカーオプション設定

*6 「25S L Package」「XD L Package」に採用

*7 「25S L Package」「XD L Package」に採用

*8 WLTC モード燃費は国土交通省審査値で、燃料消費率は定められた試験条件での値。お客様の使用状況(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用時等)に応じて燃料消費率は異なります。

WLTC モード: 市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。

市街地モード: 信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。

郊外モード: 信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。

高速道路モード: 高速道路等での走行を想定。